

書店のブックカバー等を利用した人権啓発活動について

横浜地方法務局人権擁護課

当局では、本年12月4日（日）から、人権週間における啓発活動として、神奈川県に本拠を置く老舗書店である株式会社有隣堂（以下「有隣堂」という。）の御協力を得て、昨年度に引き続き、「みんなで築こう 人権の世紀 ～考えよう 相手の気持ち 育てよう 思いやりの心～」の啓発重点目標の広報と人権相談所の案内を目的として、「人KENまもる君」及び「人KENあゆみちゃん」をデザインしたブックカバーを作成しました。

本啓発活動のために用意したブックカバーは、本年度も新書サイズで10万枚です。左側の折り込み部分に13cm×4cmの大きさに「人KENまもる君」たちが印刷されていますが、有隣堂のイメージカラーであるグリーンと程よくマッチしています。書店で使用していただくことによって、書籍購入者及びその周辺の方に対する啓発及び人権相談所の周知が可能となり、神奈川県民に対する人権意識の普及と高揚を図ることができます。

有隣堂のブックカバー



また、「しおり」については2万枚作成しました。

しおり（表／裏）



この「しおり」は、13cm×4.5cmの大きさで、両面印刷されています。表面は、白をベースとしたブックカバーと同様のシンプルなデザインに仕上がっており、裏面は、「人権相談窓口一覧」とモバイル人権相談受付窓口のQRコードが印刷されています。各店舗のレジ等に置かれており、店舗利用者が自由に持ち帰ることができます。

書店の協力を得て行う本啓発活動は、当局における3年目の継続事業ではありますが、人権相談所の存在を世間に知らしめる方策の一つとして、引き続き、創意工夫を凝らし、利用者等の反響などを踏まえながら、人権尊重の思想の普及と人権相談所のPRに努めていきたいと考えています。